

# シラバスの記載内容について

シラバスは以下の項目に沿って記載されている

- 〔 授 業 科 目 名 〕 授業科目名を記載する。
- 〔授業科目名（英字）〕 授業科目の英文名を記載する。
- 〔ナンバリング〕 授業科目の教育課程上の位置づけ（どの分野の授業科目か、といった科目の所在地）や単位の取扱い（必修、選択など）等を把握できるよう、ナンバリングを記載する。
- 〔 年 次 〕 授業科目の配当学年を記載する。
- 〔 単 位 数 〕 授業科目の単位数を記載する。
- 〔 期 間 〕 授業科目の開講期間を記載する。
- 〔 担 当 者 〕 担当者の氏名を記載する。複数担当や非常勤講師などの場合、省略することもある。
- 〔授業のねらい・概要〕 授業の目標・目的を十分に理解し、その達成に向けて努力することにより、積極的に授業に取り組むことのできるよう、授業目標・目的を中心に授業の概要、授業形態等を記載する。
- 〔 C S コ ー ス 〕 C S 関連科目について、学修・教育目標達成度判定基準と科目の対応を記載した。
- 〔スパイラル型教育〕 該当科目について、対応育成能力と教育目標を記載した。
- 〔 授 業 計 画 〕 授業開始から終了までの実施スケジュールおよび予習・復習事項の指示を記載する。半期（前期または後期）の場合は 14 回、通年の場合は 28 回を目安とする。
- 〔予習・復習〕 授業外学修に費やす目安時間を授業ごとに記載する。
- 〔 到 達 目 標 、  
ミニマムリクワイアメント〕 到達目標および達成度の判定基準を記載する。
- 〔 評 価 方 法 〕 評価方法、評価材料について、できるだけ具体的に記載する。
- 〔成績評価基準〕 到達目標の達成度による成績の評価基準を示す。  
学則上の成績評価基準（学部・大学院共通）は次のとおり。

(合 格) S (A) :100~90 点、A (B) :89~80 点、B (C) :79~70 点、C (D) :69~60 点、G :合格  
(不合格) F: 59~ 0 点、\* : 評価不能

※S (A)・A (B)・B (C)・C (D) の ( ) の表記は 2024 年度以前の学生対象

- 〔 教 科 書 〕 常時使用する教材（配付プリントを含む）を示す。
- 〔 参 考 書 〕 補助教材を示す。
- 〔 受 講 心 得 〕 授業を受けるにあたっての学生への要望、予習・復習事項の指示、担当者の専門分野の紹介、また、必要な予備知識などを記載する。
- 〔課題やテスト等に対するフィードバック方法〕 学生への課題やテスト等に対するフィードバック方法を記載する。
- 〔オフィスアワー〕 学生からの質問や相談に応じるために、教員が在室している曜日・時間帯を示す。

〔連絡方法〕 学生から教員への連絡方法を記載する。

〔ノートPC〕 ノート PC の可否を記載する。

〔実践的教育〕 担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目については、その授業概要を記載する。